

あべともこニュース

環境、平和、次世代のための政治を。

◆広がるPFAS汚染を止めるために
5日、阿部ともこは、衆議院環境委員会で、今後のPFAS汚染対策について質問。汚染源の特定に加え、今後課題となるであろう、汚泥肥料に含まれるPFASをどうするかなど、拡大する汚染を食い止める為、環境省が予防的に対策すべきだと指摘しました。

汚染は、岡山吉備中央町や兵庫・明石川でも発覚していますが、いずれも産業廃棄物処理場やPFAS除去のために使用された活性炭フィルターが野積みされていた所で起きています。しかしながら、現在の法体系では、工場排水は勿論のこと、再処理工程や廃棄物汚染泥を規制する法律等は整備されていません。さらに、測定や除染費用は、自治体や事業者に丸投げ。これでは、“永遠”に汚染は消えません。

“令和の水俣病”にさせないためにも、国が総力をあげ、自治体とも連携して対策を講じるべきです。



衆議院議員あべともこ
プロフィール

神奈川12区(藤沢市・寒川町)
当選8回、東京大学医学部卒業、
小児科医、あべともこ子ども
クリニック(湘南台)理事長
現在、厚生労働委員会
原子力問題調査特別委員会委員



あべともこ
公式X (旧Twitter)
@abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko



あべともこ
公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索



あべともこ後援会入会及び、
ボランティアスタッフ募集

◆世田谷区の産後ケアセンターを視察
「ワンオペなので一人でできるか不安」「赤ちゃんに泣かれてもどうしたらよいかわからない」「夫も疲労困憊」……

8日、世田谷区立産後ケアセンターを自治体議員らと一緒に視察しました。同センターは母子保健法に産後ケア事業が位置づけられる以前の2018年に開所しました。新米ママを孤立させないためのお助け施設は明るくきれい。ショートステイ、デイケアが利用でき、ママと乳児のからだのケア、育児や授乳の相談、沐浴指導などを助産師さんがサポート。臨床心理士、保育士も加わり手厚い体制です。稼働率は80%を越える人気です。

「産後ケア事業は少子化対策の切り札」と保坂展人区長が先頭に立っては力を入れています。「おめでとー」「大丈夫、安心して」と妊産婦、子どもへのエールが聞こえてきました。

◆キューバ大使を藤沢に迎えて
3日、あいにくの雨もよいでしたが、新任のキューバ女性大使ヒセラ・ガルシアさんが藤沢市を訪問。

市長への表敬始め、1995年に非核自治体宣言をした記念に置かれた母子像を見るなど、核兵器廃絶に向けた取り組みが話されました。

藤沢市では毎年度広島、長崎に小学生から高校生まで、約三十人を派遣する事業を続けていることを鈴木市長から、またガルシア大使からは、核兵器廃絶に向けた中南米非核地帯の取り組みのお話があり、核戦争の脅威も強まる世界の動きの中で、これからも友好を深めたいと確認し合いました。

また平和の母子像の作者の熊坂兌子さんも市長表敬や、奥田公園に置かれた母子像までご一緒してください、大使も大変に喜んでおられ、お昼にはあべともこと歩む会の皆さんと昼食をご一緒して、藤沢が大好きになりました。



ガルシア大使らと